

※ 本コラムは、共同通信社より配信されたものです。

「多能工」で助け合う

経理職もプレス作業に

社員の仕事と暮らしの両立に熱心な企業を表彰する「ワーク・ライフ・バランス大賞」の優秀賞を2007年に受けた金型メーカー、カミテ(秋田県小坂町)の取り組みはともユニークです。

暮らしと仕事の両立に熱心とされる会社の多くは子育て支援など制度の充実ぶりや、運用の柔軟さが評価されています。カミテは、複数の職務をこなせる「多能工」同士が互いに助け合うという要素が注目されました。

カミテの「多能工」は自動車メーカーのように製造現場に限ったものではありません。経理などの事務部門も含まれています。製造現場に欠員が出れば、場合によっては経理担当者がプレス加工もこなします。

人材確保は地方の中小企業にとって常に経営の重要な課題です。育児や介護はもちろん、カミテの従業員は実家の田植えや稲刈りも手伝います。そこで従業員を多能工に育て、欠員を補うことにしました。

同社の経営者のモットーは「企業は人なり」。従業員をコストで考えるのではなく、資産として大事にしています。1年の農作業の流れに気を配るのも、従業員に兼業農家が多いからです。

暮らしの変化に合わせてながら、長く働いてもらうために、多能工を取り入れたのです。事務職の女性にプレス作業をしてもらうと、きちょうめんさが助けになりました。

金属加工業は中国企業などとの厳しい競争にさらされています。しかしカミテは柔軟な人事システムを持つからこそ、ビジネス環境の変化に的確に対応して、好機を生み出していくと期待できます。(株式会社グッドバンカー)